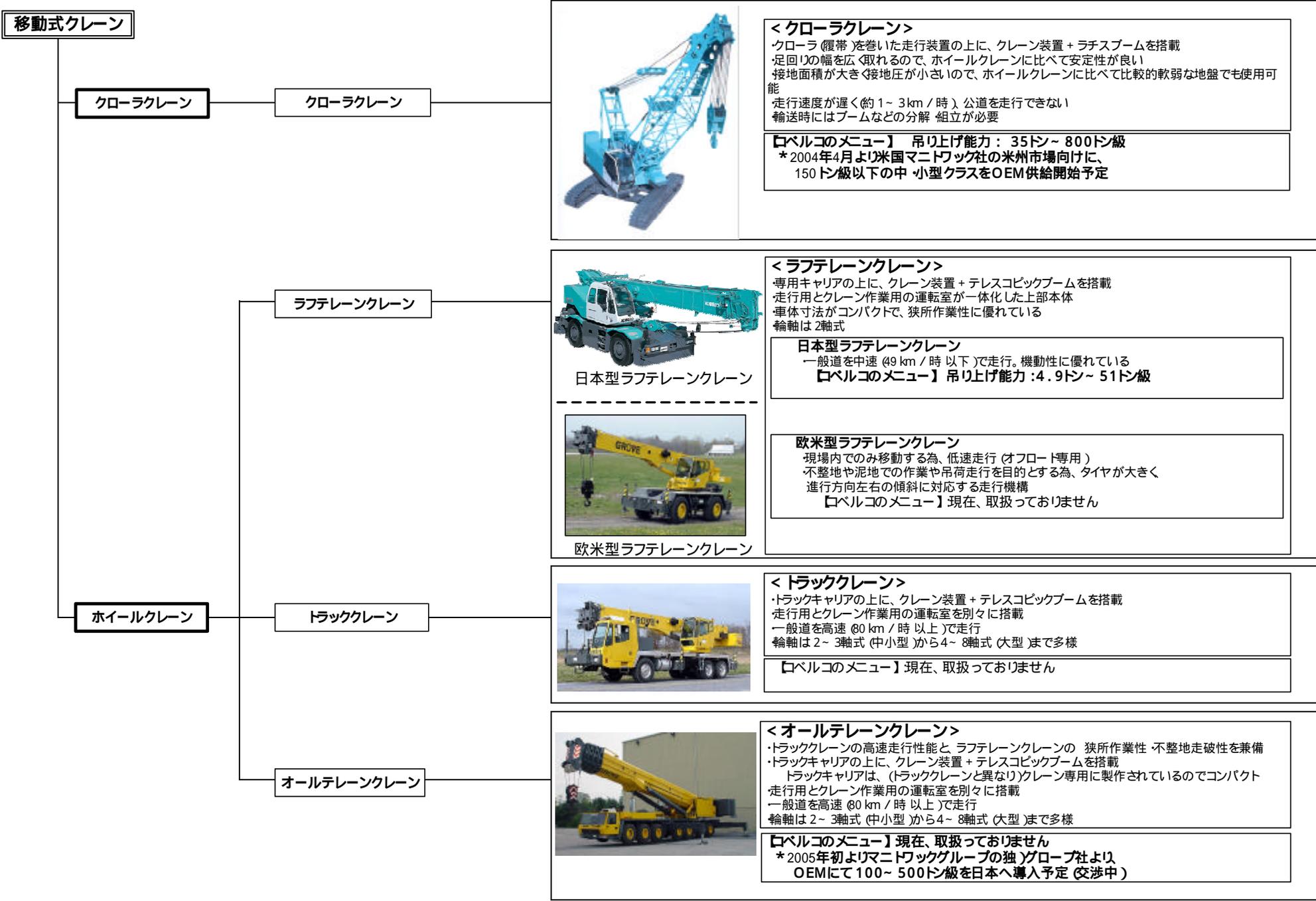


# 主な移動式クレーンの分類 と コベルコのクレーンメニュー




**<クローラクレーン>**  
 クローラ (履帯) を巻いた走行装置の上に、クレーン装置 + ラチスブームを搭載  
 足回りの幅を広く取れるので、ホイールクレーンに比べて安定性が高い  
 接地面積が大きく接地圧が小さいので、ホイールクレーンに比べて比較的軟弱な地盤でも使用可能  
 走行速度が遅く(約 1~ 3km / 時) 公道を走行できない  
 輸送時にはブームなどの分解 組立が必要

**【コベルコのメニュー】** 吊り上げ能力： 35トン~ 800トン級  
 \* 2004年4月より米国マニトフック社の米州市場向けに、  
 150トン級以下の中 小型クラスをOEM供給開始予定



**日本型ラフテレーンクレーン**

**<ラフテレーンクレーン>**  
 専用キャリアの上に、クレーン装置 + テレスコピックブームを搭載  
 走行用とクレーン作業用の運転室が一体化した上部本体  
 車体寸法がコンパクトで、狭所作業性に優れている  
 輪軸は2軸式

**日本型ラフテレーンクレーン**  
 一般道を中速 (49 km / 時 以下) で走行。機動性に優れている  
**【コベルコのメニュー】** 吊り上げ能力 : 4.9トン~ 51トン級

---



**欧米型ラフテレーンクレーン**

**欧米型ラフテレーンクレーン**  
 現場内でのみ移動する為、低速走行 (オフロード専用)  
 不整地や泥地での作業や吊荷走行を目的とする為、タイヤが大きく  
 進行方向左右の傾斜に対応する走行機構  
**【コベルコのメニュー】** 現在、取扱っておりません



**<トラッククレーン>**  
 ・トラックキャリアの上に、クレーン装置 + テレスコピックブームを搭載  
 走行用とクレーン作業用の運転室を別々に搭載  
 一般道を高速 (80 km / 時 以上) で走行  
 輪軸は2~ 3軸式 (中小型) から4~ 8軸式 (大型) まで多様

**【コベルコのメニュー】** 現在、取扱っておりません



**<オールテレーンクレーン>**  
 ・トラッククレーン的高速走行性能と、ラフテレーンクレーンの 狭所作業性・不整地走破性を兼備  
 ・トラックキャリアの上に、クレーン装置 + テレスコピックブームを搭載  
 ・トラックキャリアは、(トラッククレーンと異なり)クレーン専用で製作されているのでコンパクト  
 走行用とクレーン作業用の運転室を別々に搭載  
 一般道を高速 (80 km / 時 以上) で走行  
 輪軸は2~ 3軸式 (中小型) から4~ 8軸式 (大型) まで多様

**【コベルコのメニュー】** 現在、取扱っておりません  
 \* 2005年初よりマニトフックグループの独 ) グローブ社より  
 OEMにて 100~ 500トン級を日本へ導入予定 (交渉中)